



第50号

ぽっかぽか

函南病院新設部



新事務部長
久 昌博

事務部長に就任して半年が経過しました。引き出しが少ないので困ったり失敗する事が多く、毎日のように「こうしておけば良かった。」と思う事があります。試行錯誤を重ねながらの日です。

この半年で職員と話をする機会が増えました。人見知りもするし自分から話をするという事が苦手な方なので、聞き役に回る事がほとんどです。愚痴っぽい話になる事もありますが、病院の抱える問題点に気付かされる事も多く経営改善のヒントを頂いています。

ただ、今まではそういった声に十分に答える事が出来なかつたり、問題点をそのまま放置し時間経過に任

せてしまったりという事が多かったのではないかと考えています。

たくさん抱えている問題を抱えてはいますが、常に最善を尽くして、全ての職員が力を発揮出来る場を作っていきたいと思っています。

理想通りにはいかないう事もあると思いますが、理想に近づける努力は大切だと思います。

強いリーダーシップを持ってみんなを引っ張っていただける事務部長になれるでしょうか。

- 病院理念
1. 私たちは地域にとってよりよい医療・介護を目指し努力を続けます。
 2. 患者様に信頼される技術と暖かいホスピタリティを提供できることが私たちの目標です。
 3. 私たちは医療人として楽しく働ける職場作りを目指します。
- 病院基本方針
1. 我々は病氣 (Common Disease) を安全・快適に治療することを目標としています。
 2. 我々は当院の専門分野での高い医療レベルを維持することに努めます。
 3. 我々は地域の他の医療機関・施設との連携を大切にします。
 4. 我々は個人の尊重を重んじ、人生の終末期に対して入院および在宅医療・介護を通じて取り組みます。

部門紹介

検査部



検査部では血液検査をはじめ、尿検査や心電図などの生理検査を行っており、正確で信頼度の高い検査データをより早く提供できるよう努力しています。

また当院では創傷ケアセンターを併設しており、傷の治療方針決定にはかせない**SPP検査**(皮膚灌流圧検査)も実施しております。この検査では、傷のある部分に酸素や栄養が運ばれているかなど皮膚表面の血行動態を知ることができます。

長期にわたって傷が治らない方は、一度検査を受けてみませんか。

薬剤部

薬剤部では内服薬や注射の調剤、院内の医薬品管理、医薬品情報管理、病棟薬剤業務、薬剤管理指導を行っています。

点滴の一部や抗癌剤は、無菌製剤室のクリンベンチや安全キャビネット内で薬剤師が毎日調整しています。

血中濃度が重要となる注射は、最適な投与量・投与間隔の解析を行っています。

また、院内の種々の医療チームに参加し、安心・安全な薬物医療の提供に努力をしています。



放射線部

16列マルチスライスCT装置 平成21年9月導入 [GEヘルスケアジャパン社製 BrightSpeed EliteSD]

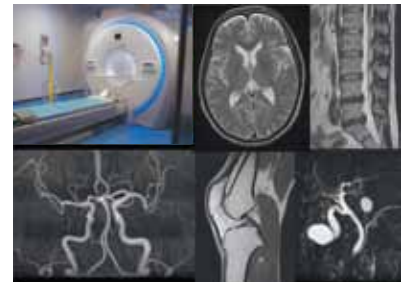
1回の息止めで全身の薄いスライス撮影が可能のため、画像は情報量も多く、その画像を元に立体画像(3D)や縦、横、斜めの断層画像(MPR)も作成できます。また、静脈から造影剤を注入して撮影することにより簡単に立体血管像(CTA)を作成できます。その他、腹腔内臓の脂肪測定(メタボ検診)なども検査しています。



1.5TMRI装置 平成27年4月導入 [東芝メディカルシステムズ社製 Vantage Titan]

当院のMRIは筒直径が71cmと広く、筒長さも154.5cmと短いため患者さんの圧迫感が低減される構造となっています。また静音化技術[Pianissimo機構]により、検査騒音を90%以上カットされており患者さんにやさしい装置です。

脳梗塞、脳動脈瘤、脳内病変、非造影での脳血管撮影。腰痛や圧迫骨折など頸～腰部までの脊椎撮影。肩、膝、股関節など関節部の撮影。肝臓、膵臓、胆石などの腹部撮影。非造影での腹部血管や下肢動脈狭窄などの血管撮影。これらの検査を高画質で撮影できます。その他、認知症診断支援(VSRAD)も行っています。



DR装置 平成26年3月導入 [東芝メディカルシステムズ社製 Ultimax-i]

17インチ角の平面検出器(Flat Panel Detector:FPD)により大視野で観察できCアーム搭載で多方向からの観察も可能です。胃や腸の透視撮影、肝細胞癌の治療法であるTACE、下肢の血管形成術(PTA)、内視鏡的逆行性胆管造影(ERCP)、経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)などその他IVR(X線透視下で治療)を行っています。

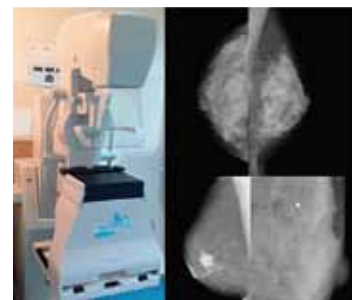


マンモグラフィー装置 平成17年9月導入 [コニカミノルタエムジー社製 Marmaid(コニカミノルタPCMシステム)]



当院のマンモグラフィー装置は位相コントラスト技術搭載機器(PCM)を採用し、乳房内腫瘍や微細な石灰化も鮮明に写し出すことができます。

マンモグラフィー検診精度管理中央機構施設画像評価でマンモグラフィー検診施設として認定されています。



栄養部



栄養部では入院中のお食事は患者様の栄養状態の維持管理や治療の一部であり、美味しく楽しく召し上がって頂くために栄養バランスや季節を感じる食事を提供しております。

また栄養指導では患者様の食生活だけでなく生活習慣なども伺いながら実践可能な方法を提案させていただいています。

食事に関することは、是非栄養士までお声掛けください。



リハビリテーション部

リハビリテーション部では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、助手を有し、各専門分野で患者様のニーズに合った訓練をマンツーマンで行っています。

対象は、筋・骨・関節系の整形外科疾患、脳卒中等の脳血管疾患、高次脳機能障害や認知症、術後や長期入院に伴う廃用症候群等です。

物理療法機器として、低周波治療器、極超短波治療器、頸・腰椎牽引器、ホットパック、渦流浴、マクター等があり、疼痛や筋緊張緩和、麻痺の改善、筋萎縮予防等を目的に使用しています。

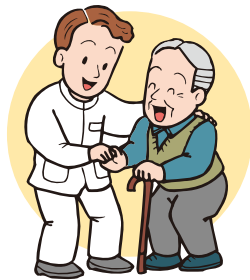


<理学療法>

物理療法・運動療法等を用いて、治療・訓練を行っています。

訓練機器として、自転車エルゴメーター、トレッドミル(歩行訓練器)等の体力向上を図るものから、日常生活に即した訓練を行うものがあります。

理学療法士は前記機器を使用するとともに、徒手の手技、運動療法を主として行い、患者様の身体機能向上を図り、生活に必要な歩行を含めた動作能力の改善を図ります。



<作業療法>

人が生きて行う全てのこと=「作業」を対象に、医学・心理学・運動学・生活学等に基づき障害により困難になったことへの援助・二次的障害の予防・より良い生活への提案を訓練や助言等を通して行います。当院は急性期・療養型病床・緩和ケア病棟を有し外来訓練も実施、様々な評価・訓練器具、作業用具、家事用品も備えているため、心身機能の経過や生活を見据えた心身機能訓練・日常生活・家事・復職訓練、趣味・余暇活動等が可能です。さらに、在宅生活に向けた環境整備・福祉用具や制度の利用等へのご相談にも対応します。



<言語聴覚療法>

脳血管障害などによって、話す・聞く・読む・書くといったコミュニケーション手段が障害された患者様に対して、言語機能を促進する訓練や舌や口唇などの運動訓練、発声訓練等を行っています。



<摂食機能療法>

主に脳血管障害や誤嚥性肺炎によって食事をうまく飲み込めない、頻繁にむせ込むといった患者様に対して、再び安全に食べられるように行います。それに加えて、ご家族に対して安全な食事介助法の指導も行っています。

<嚥下造影検査>

嚥下障害は食べているご本人も、介助するご家族にとっても、直接目で確認する事が出来ないため、食べ物を上手く飲み込めているのか、それとも誤嚥しているのか把握出来ない怖さがあります。

当院では、X線造影検査(VF)と嚥下内視鏡検査(VE)を用いて、外部からは確認出来ない口の中に入ってから飲み込むまでの内部の様子を詳しく評価する事が出来ます。



緩和ケア病棟の金魚

スタッフが交代でお世話をしています。
患者さんやご家族の癒しの存在になって
くれています。

Uchinoko Jiman

うしなこ じま

この子達のママ



ママ~



ボク
キムタク

緩和ケア病棟で
飼っている
キムタク、
キンクロウ、
キンタロウです。

ボク
キンタロウ



ボク
キンクロウ



◆壁飾りシリーズ◆



西二階病棟の詰所前の壁には、患者様に季節を感じて頂きたく、スタッフ手作りの折り紙や写真で四季を表現しています。皆さんも是非、一歩足を止めご覧ください。



発行
特定医療法人久会
関南病院
編集
関南病院新聞部

編集長 久直史

高知市知寄町一丁目一五
電話 〇八八二八二二三六

